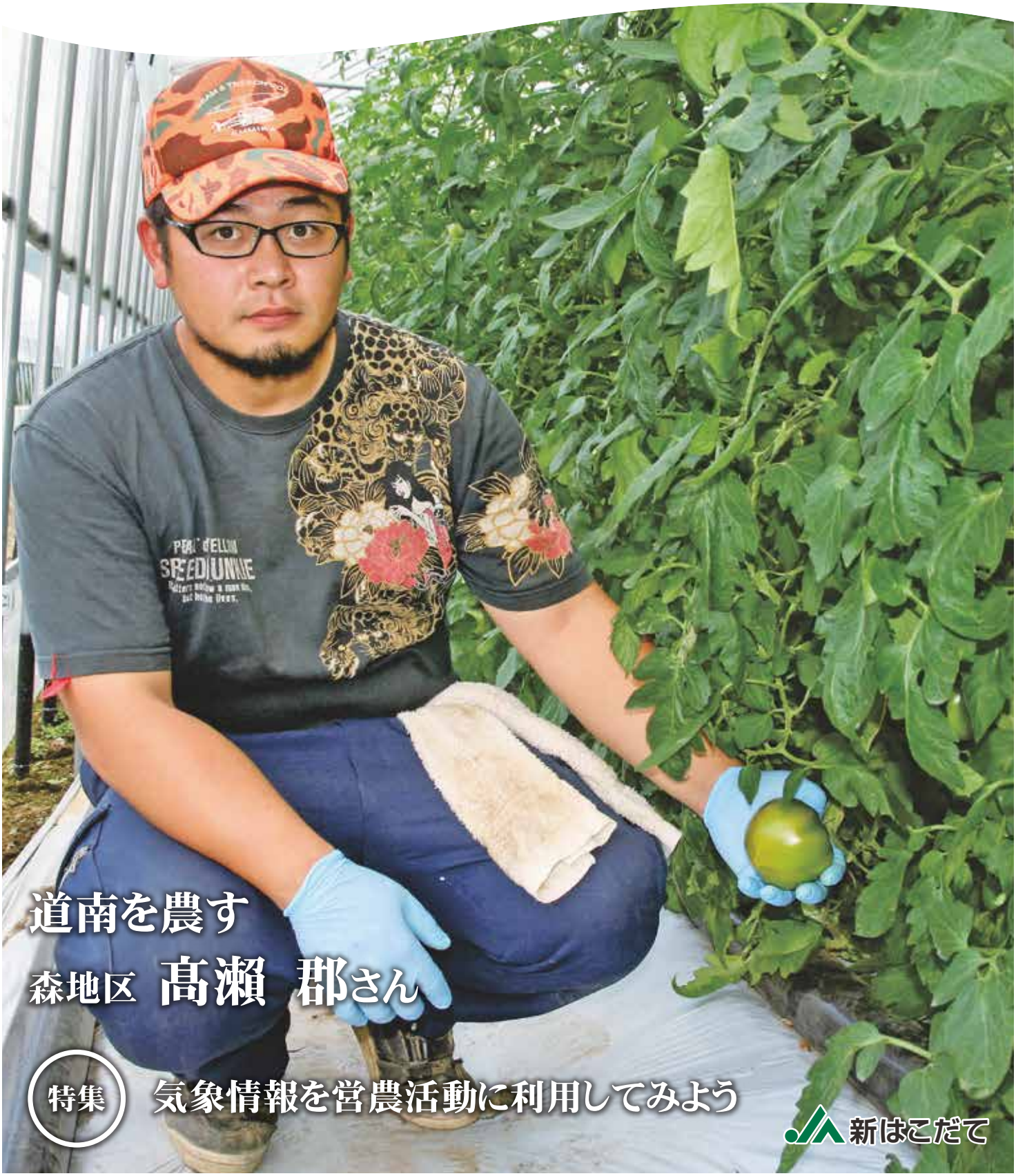
ＪＡ新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

えすぽわーる 新函館

10
October 2017

No. 182



道南を農す
森地区 高瀬 郡さん

特集 気象情報を営農活動に利用してみよう

新はこだて

道南をたがや農す

冬にはスノーモービルを楽しんでおり、「スノーモービルをやるために、夏場の忙しい時期を一生懸命働いています」と郡さん

森町 濁川
髙瀬（たかせ）　郡（ぐん）さん

水稲	5.05ha
トマト	1.06ha

自ら考え、収量改善に取り組む
家族思いの優しい農業者

家族と過ごす時間を大切に

髙瀬郡さんは高校卒業後、自衛隊に入隊。そこで7年間勤めた後、実家に戻り、就農した。「いつ声が掛かっても大丈夫なように心づもりはしていた」と就農を決めた時のことを振り返る。

実際に就農してからは、朝が早いということ以外、苦労した点はないとのこと。「自分が就農したことで、両親の作業負担を軽減できたので、その点は良かった」と話す。

今年の8月に夢叶（ゆめか）ちゃんが産まれ、父親になった郡さん。奥さんの未果（みか）さんは子供と実家に帰省していることから、仕事が早く終わった日には、子供の顔を見に行っている。「休みもなく忙しい中で子供の顔を見ると、日頃の疲れも忘れられる」と語る。家族との時間は自分にとってもリフレッシュできる大事な時間とのことで、「これからも家族との時間を大切にしたい」と笑顔で話す。

トマトを収穫するときは大きさや色、形などを確認しながら行っており、さらに、ヘタの部分は他の実を傷つけないために、しっかりとハサミなどを使って切っている。

トマトの収穫作業を終えた後には、ハウス内のトマトの生育状態を確認。花の数などを見て、多く咲いている場合には取り、決まった実の数がつくようにしている。

潅水と追肥作業の様子。潅水と追肥は小まめに行っているとのこと。「追肥のタイミングは、前回実施した日からの経過日数や生育状態を見ながら注意して行っています」と話す。

トマトの収量アップに挑戦

一年を通して、トマトの栽培に忙しい郡さん。トマトは種から育て、接ぎ木も自分達で行っているとのこと。「種から育てるので、トマトに対して愛着もわく。また、接ぎ木した苗を購入するより病気もわかりやすい」と自分達で接ぎ木する良さを話す。

また、今年の夏秋トマトから、収量をアップさせるために、6段目以降の終わり間際でもう一度、花を咲かせて収穫するということに取り組んでいる。

今後について、「今までは、麗容（れいよう）という品種が多いので、違う品種も試してみたい」と話す。

その他には、来年からトマトの収量が落ちてきているハウスで新たにキュウリを栽培することを父の正志（まさし）さんと母のなおみさんの3人で検討中とのこと。

収量アップと経営の安定に向けた挑戦はこれからも続く。

えすぽわーる

NO.182／2017年10月号

CONTENTS

2 道南を農す
森地区　髙瀬　郡さん

4 特集　気象情報を営農活動に利用してみよう

6 リーダーズボイス
南桧山地区青年部
伊藤 明博 部長

7 となりの農家さん
七飯　松浦　生昇さん
八雲　幸村　修一さん

8 トピックス
第9回食と農と愛をつなぐフェスティバル
ＪＡ道南青協とホクレン函館支所との意見交換会
他

11 あぐりレッスン

12 JAグループ通信

13 インフォメーション
営農販売・経済委員会視察報告
新米初検査
他

15 みんなのまるめ郎広場

16 料理楽しくステップアップ！
サトイモの煮っころがし～みそ風味～

イチオシの一品！

ふっくりんこ玄米緑茶

静岡産の茶葉に「ふっくりんこ」の玄米を配合した、香ばしい玄米茶です。

原料の玄米は全て1等米を使っており、原料にもこだわった1本です。

1本　500ml　120円（税別）

お問い合わせ／本店　米穀課
TEL:0138-84-8737

特集　気象情報を営農活動に利用してみよう

最近、毎年のように大雨による被害等が報道されております。農業にとって気象情報は、今後の生育状況やリスク回避対策には欠かせないものとなっております。そのために、必要とされている気象データを有効に活用し、営農活動に役立ててもらうため、今回は、気象庁の「農業気象ポータルサイト」の利用方法についてご紹介します。

農業分野に役立つ情報を集約した農業気象ポータルサイト利用方法

※今回は、水稲を例にとって、「２週間先までに平年より高温となるかどうか調べ、水稲の高温対策を調べる場合の流れを紹介します。

【ステップ1】 気象要素を選択

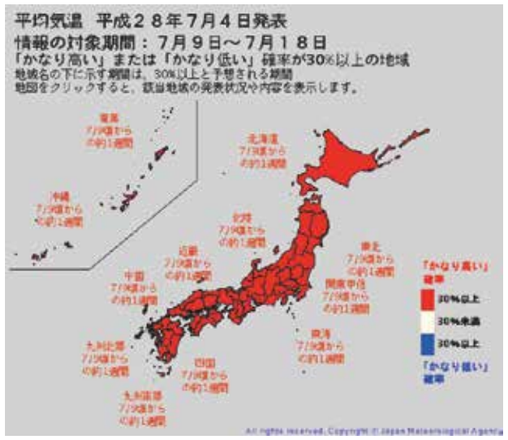
ポータルサイトのトップページの「高温」をクリック

【ステップ2】 知りたい時点の気象情報を選択

「～2週間先」の「異常天候早期警戒情報」をクリック

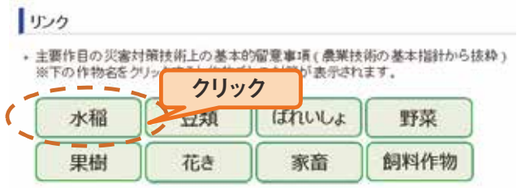
【ステップ3】 気象情報を見る

14日後までに、気温が平年よりかなり高くなるかが分かります。



【ステップ3】 対策を調べる

ステップ2で表示した「高温」ページの下にある「リンク」の「水稲」をクリックすると水稲の高温対策における留意事項が表示されます。

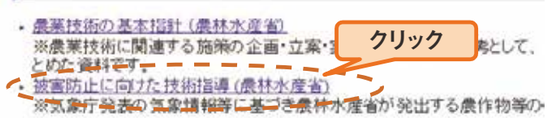


気象情報への理解を深める

◆各気象情報と用語の解説のほか、利用上の注意等が記載されています。

【 参考 】農林水産省の技術指導通知

ポータルサイトのトップページから、気象庁の気象情報等に基づき発出された被害防止に向けた技術指導通知を閲覧できます。



【営農活動における気象情報利用例】

低温対策

【利用する気象情報例】
低温注意報、天気予報など

【技術対策例】
深水管理、中耕、培土の管理など

高温対策

【利用する気象情報例】
高温注意情報、天気予報など

【技術対策例】
窒素の追肥、出穂後の通水管理など

降雨対策

【利用する気象情報例】
警報・注意報、天気予報など

【技術対策例】
ほ場内排水溝の点検など

降雪対策

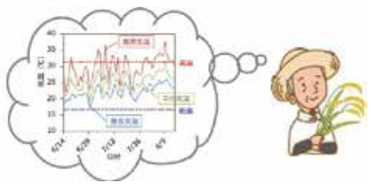
【利用する気象情報例】
警報・注意報、天気予報など

【技術対策例】
パイプの撤去や除雪など

作付計画の策定

【利用する気象情報例】
日平均気温、日最高気温、日最低気温、日照時間などの過去の気象データ

【利用例】
気温や日照時間などの履歴による栽培適地の判定、気温や降水などの履歴による栽培管理の見直しなど



【気象情報の適切な利用のために】

気象情報は、様々な特性をもっています。
利用したい気象情報がどういった特性をもっているかを理解して使うことが大切です。

一般的な留意点

◆予報は、随時または定期的に更新されます。
　過去に発表されたものではなく、最新に発表されたものを利用しましょう。
◆気象情報には、その時々によって程度の異なる誤差が含まれる場合があります。
◆気象情報ごとに対象とする気象現象が異なります。（例えば、季節予報で竜巻の予報はできません）

【その他】

気象庁では、過去の気象予測データや １ヶ月予報などをより一層活用するために”気候リスク”（気候によってうける可能性のこと）に対応していく方法についてもご紹介しています

気候リスク管理のプロセス（ 認識 → 評価 → 対応 ）

気候リスクを認識する

"気候リスク"とは気候によって影響(好影響も含む)を受ける可能性のことをいいます。
私たちの身の回りにはさまざまな気候リスクが存在します。まずは気候リスクに気付くことが必要です。

気候リスクを評価する

続いて、認識した気候リスクを定量的に見積もります。
例えば、「気温が○℃を上回ると作物が影響を受ける」のように具体的な数値を把握することによって、気候リスクがより明確になります。

気候リスクに対応する

気候リスクが評価できたら、将来の見通しをたてて気候リスクの軽減に向けた対応を行います。
気候情報の精度や性質を理解して、意思決定への活用を目指します。

※掲載内容については、気象庁のホームページの「農業気象ポータルサイトの利用方法」(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/setumei.pdf)「気象情報を活用して気候の影響を軽減してみませんか?」(http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/index.html)より引用しております。図・写真等については、当JAで編集・加工等を行っております。
詳細については、気象庁のホームページをご覧下さい。

連続インタビュー

リーダーsボイス

Leader's voice

地域のつながりが見直され、ますます重要になる昨今。地域を担う若きリーダーの皆さんに毎月インタビューします。

地域を担うリーダーとして 地域活性化に取り組む

ＪＡ新はこだて青年部／南桧山地区青年部

伊藤（いとう）　明博（あきひろ） 部長（31）

部員数：３２人　設立：平成２４年

●特に力を入れている活動を教えて下さい。

当地区の青年部では、地域の方と協力し、ミニバレーボール大会を開催しています。交流を通じて新たな発見や出会いがあり、とても楽しいです。地域の夏祭りでは、地場産の野菜販売を通じて、消費者との交流・ＰＲを積極的に行い、地域農業について、もっと知ってもらえる活動に力を入れています。

●部長に就任して良かったこと、大変だったことは。

当初は、大変な事が多く、面倒だと感じていました。特に、繁忙時期の会議や活動には、部員の協力が必要不可欠となるので、まとめる事が大変です。ただ、それ以上に地区間を越えて、たくさんの部員と交流ができる事は、とても貴重な経験で一生の宝物になります。

●営農するうえで気をつけていることは何ですか。

栽培の基礎ともいえる「土づくり」を大切にしています。他には、農地の排水対策（暗渠）を行うなど環境整備にも気を配っています。また、厚沢部町は、種子馬鈴薯の産地として供給責任があるので、圃場の管理、特に病株の抜取りを常日頃から行うよう心掛けています。

●今後、青年部員に求めることは何ですか。

積極的に青年部活動に参加してほしいです。今年は若松地区・森地区青年部と交流会を開催し、仲間作りの大切さを実感しました。青年部員には、このような活動に積極的に参加して楽しんでほしいです。また、将来的にはリーダーとして地区を引っ張っていける部員が出てきてほしいです。

〈取材　厚沢部支店　営農生産課　佐藤洋輔〉

今年開催した「あっさぶふるさと夏まつり」の様子。伊藤部長は「部員自らが管内の農産物を販売し、消費者とも楽しく交流できました」と語ってくれた。

「わかさぎ釣りが趣味で、シーズンを迎えるのが今から楽しみです！」と笑顔を見せてくれた。

▲「おいしいりんご作りを目指して頑張ります」と松浦さん

七飯

おいしいりんご作りを目指して

松浦（まつうら）　生昇（たかのり）さん（55）　りんご

七飯町大川で果樹園を営み、果樹組合ななみつき部会長を務める松浦生昇さんは、りんごの収穫時期を迎え、多忙な毎日を送っている。約２ｈａのりんごを栽培し、年間約45ｔを収穫。代表的な品種である「ふじ」を一番多く生産している。

栽培で気を付けている点は「味と見た目には気を遣っており、葉取り、玉回し等の作業時期を調整し、品種毎の生育状況を見極めながら作業を行っている」と話す。

今後について、「たくさんの方においしいりんごを食べてもらいたい。また、部会としても、品質向上を目指して頑張りたい」と語った。

〈取材　七飯支店　花田　有希〉

となりの農家さん

～農家の現場へズームイン～

八雲

家族の笑顔の為に！

幸村（こうむら）　修一（しゅういち）さん（39）　露地ねぎ

▲「同じ面積で増収増益を目標に」と幸村さん

八雲町野田生地区の幸村修一さんの圃場では、8月下旬から露地ねぎの収穫が始まっており、ピーク時の9月中旬には日量20～30ケースほどを収穫。10月中旬頃まで作業は続く。幸村さんは他にも、軟白ねぎ・ほうれん草・レタス・みょうがなどを栽培している。

今年の出来栄えについては、収量・品質ともに昨年並みとのこと。

作業を行う上で徹底している事については、「病害虫の適期防除は、特に力を入れて取り組んでいます」と話す。

仕事をする上でのやりがいを尋ねると「収穫が終わったときに、達成感とともにやりがいを感じる」と語ってくれた。

〈取材　八雲支店　中村　愛恵〉

えすぽわーる TOPICS トピックス

管内各地の旬な情報をお届けします。

お雛子に合わせて力強く餅をつく部員

管内の農畜産物やフードにたくさんの人
第9回食と農と愛をつなぐフェスティバル

JA新はこだて青年部は8月27日、農産物直売所あぐりへい屋駐車場で「第9回食と農と愛をつなぐフェスティバル」を開き、大勢の人で賑わった。

部員らは19品目の農畜産物や「はこだて和牛」入り焼きそば、「若松ポークマン」のフランクフルトなどを販売。用意したものほとんどを終了時間内に完売した。

販売以外でも、米すくい、馬鈴薯の詰め放題には行列ができ、人気を集めていた。また、もちつき雛子では落部支部の青年部員が、お雛子に合わせて力強く餅をつき、周りの来場者を楽しませていた。その他、もちまきでは小さい子どもから大人まで皆が参加し、盛り上がっていた。

盛り上がったもちまきの様子 青年部

今後の販売展開など意見交わす
JA道南青協とホクレン函館支所との意見交換会

JA道南地区青年部協議会は8月22日、函館市の道南農業会館でホクレン函館支所との意見交換会を開いた。

まず初めに、JA北海道中央会札幌支所の道上健太郎主査が基本農政並びに品目ごとの状況を説明。続いて、平成30年以降の需要動向を踏まえた販売展開に関して、品目ごとに意見交換を実施した。

青年部からは米の生産調整の関係、長ネギの需給関係、酪農畜産の担い手不足など、様々な意見や質問が挙げられた。

意見を述べる伊藤司会長 青年部

効果的な防除を学ぶ
落部支部青年部 栽培技術講習会

落部支部青年部は8月25日、落部支店で栽培技術講習会を開いた。

講習会では農薬登録を調べる農林水産消費安全センター「FAMIC」の紹介のほか、農薬の使用方法、ねぎの病害虫の防除について説明された。

講習会に参加した北渡島地区青年部の長谷川公彦部長は「『FAMIC』の農薬登録情報提供システムの使い方もしっかり説明してもらい、とてもわかりやすく大変有意義な講習会だった」と語った。

講師の話を真剣に聴く青年部員 八雲

寝わらを敷く作業をする学生 酪農

将来の選択肢として『酪農ヘルパー』を
北海道酪農ヘルパーインターンシップ2017

南渡島酪農ヘルパー利用組合と八雲町デーリィハッピーワーク利用組合は、8月21～26日の6日間、将来酪農ヘルパーへの就業に関心を持つ大学生をそれぞれ2名受け入れた。

学生は、搾乳、給餌などの作業を体験したほか、酪農ヘルパーに同行してヘルパー業務を体験。また、作業体験以外にも、八雲町で開催された道南畜産共進会の視察や牧場見学、同組合三役との交流会で意見交換を行い、酪農に関しても理解を深めた。

経産牛最高位の松岡さんと「フォーカルポイントゴールドチップアリス」 酪農畜産

乳用牛で松岡さんが栄冠
第63回道南畜産共進会

ホクレンは8月23日、第63回道南畜産共進会を八雲町畜産共進会場で開いた。

渡島、桧山管内から乳用牛54頭、肉用牛13頭が出陳。乳用牛の部最高位は経産牛で12部の松岡昭好さん（函館市）の「フォーカルポイントゴールドチップアリス」、未経産牛が6部の山崎良介さん（今金町）の「インマヌエルダイアモンドアテイック」が獲得した。

肉用牛の部の最高位は5部の荒川英也さんの「さくら」が輝いた。

盛り上がりを見せた「もちつき雛子」の様子 八雲

もちつき雛子に大盛り上がり
HTBイチオシ！まつり

北渡島地区青年部落部支部と八雲支店野菜生産振興会は9月1～3日の3日間、札幌市で開かれた「HTBイチオシ！まつり」に出店し、地元の農畜産物をPRした。

今年は新たにねぎ丼を販売したほか、八雲産のミョウガも販売。ねぎ丼は完売する人気だった。

また、落部支部青年部では、昨年同様に「もちつき雛子」を披露。来場客からは「もっとやってほしい」といった声も聞かれ、イベントを大いに盛り上げていた。

買い物客でにぎわった会場 七飯

地場産持ち寄り農家が直接販売
あかまつ公園市場

七飯町内の農家が自慢の農畜産物を持ち寄り、トラックの荷台などで直接販売する「ななえあかまつ公園市場」が9月2日、同公園で行われ、大勢の買い物客でにぎわった。

町内14戸の農家などが旬の野菜や花、リンゴなどを販売した他、「メークイン」の塩煮やゆで立てブロッコリーの試食も行った。先着100人にはトマトや長ねぎ、シイタケなどの農産物がプレゼントされ、順番を待つ長い列ができた。

あぐりレッスン

渡島農業改良普及センター

［野菜］　来年に向けての土づくり

ハウスの土壌改良について

ロータリー耕が届かない深さに耕盤層が形成されます。耕盤層が形成されると、水分の安定している下層土に根が伸びません。狭い作土での養水分管理となり、高温時は萎れや生理障害が出やすくなります。

対　策

・心土破砕します。サブソイラーを活用する場合は、一気に深く施工せず、最初は耕盤層がある深さとします。年数をかけて徐々に深く施工します。
・深耕ロータリーを活用する場合、一気に深く耕起すると物理性や化学性が低下するので、堆肥等の粗大有機物を施用しながら年数をかけて徐々に耕起深を下げます。

注意点

ハウス内の土壌改良前に、ハウス周囲の雨水等の浸透水を防ぐ必要があり、明渠、暗渠が十分に機能することが重要です。不十分だと降雨時にハウス内に浸透水が集まり過湿になることがあります。

［水稲］　収穫後のほ場管理

1　透排水性の改善

（1）翌年の作業性や乾土効果を高めるため、溝切り、心土破砕等を施工しましょう。特に、枕地やコンバイン走行跡等水が溜まる場所は重点的に施工しましょう。
（2）溝切りを行う場合は、溝を明きょや落水口につなぎ、排水を促進しましょう。

2　畦畔の補修と造成

畦塗り機等で畦畔を補修しましょう。畦畔高が低くなっている箇所は、深水管理が出来るように土盛りし、畦畔の高さを30～40㎝に保ちましょう。

3　土壌診断に基づく施肥

3～4年おきに土壌診断を実施し、適正施肥に努めましょう。

4　稲わらの収集・搬出

（1）収穫後の稲わらを水田に放置すると土壌乾燥が妨げられ、春に鋤込むと土壌の異常還元（ワキ）により初期生育が停滞します。稲わらは早期に収集・搬出しましょう。
（2）稲わらの秋鋤込みは、透排水性の良い水田が条件で、収穫後直ちに実施しましょう。

心土破砕の施工

渡島農業改良普及センターのホームページ　http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/Osindex.htm

普及センター活動紹介、地域の動き・技術情報など、是非ご覧下さい！

スイートコーンの皮をむく園児　七飯

園児とスイートコーンなどを収穫
七飯町立大中山保育所　農作業体験

七飯基幹支店地区青年部は9月8日、七飯町大中山の吉野公一部長の圃場で町立大中山保育所の園児と農作業体験を行った。

当日は晴天にも恵まれ、園児たちは炎天下の中、汗を流しながらスイートコーンの収穫作業をしていた。収穫作業をした園児ちからは「おっきくて重たい」、「ママと一緒に食べる」などの声が聞かれた。

園児たちは、収穫したスイートコーンを自宅に持ち帰ったほか、当日のおやつとして食べた。

にぎわった感謝祭の様子　販売

消費者と交流
もぎたて市感謝祭

もぎたて市部会は9月3日、函館市のホクレンショップ昭和店で「もぎたて市感謝祭」を開き、部会員25人が対面販売をしながら消費者と交流した。

当日は、枝豆やキャベツ、南瓜などを販売したほか、数量限定で行ったミニトマトやタマネギ、青なんばんの詰め放題コーナーは短時間で売り切れるなど人気を集めた。

東寺竜彦部会長は「消費者と触れ合う年に一度の貴重な機会。盛況で良かった」手応えを話した。

サンプルを見て、精米までの流れを学ぶ児童　米穀

地元のお米について楽しく学ぶ
北斗市立谷川小学校　食育授業

北斗市の市立谷川小学校3年生25人は8月29日、函館育ちライスターミナルを訪れ、稲の生育や流通について学んだ。

初めに、米穀課の三浦治課長がスライドを使ってわかりやすく、稲作の歴史や雑学知識などについてクイズなどを交えて説明。続いて、施設見学では米の品質や籾から精米までの流れを、実際に稼働している機械を見せながら担当者が説明した。

参加した児童らは、時折、笑顔を見せながら楽しそうに地元のお米について学んだ。

トマトの規格や品種について説明を聞く児童　大野

稼動している機械に興味津々
島川小学校の児童が　トマト共選場を見学

北斗市の島川小学校3、4年生10人は9月7日、市内のトマト共同選別施設を訪れ、出荷されるまでの一連の流れなどについて施設内を見学しながら学んだ。

見学前には、担当職員がトマトの出荷規格や出荷先、施設の稼動状況などを児童らに説明。職員の説明に対して、驚きを見せながら常にメモをとり、真剣な姿勢で聴いていた。

その後、児童らに説明しながら、実際に稼動している機械を見てまわった。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

昨年12月の「農協改革」に関する組合員向け資料に引き続き「准組合員制度」についての組合員向け資料を作成しました。

准組合員利用規制に関して、農林水産省が結論を出す期限の平成33年3月末が迫る中、准組合員利用規制が及ぼす影響を、組合員の皆さん一人ひとりが考えるきっかけとしての活用を目的としております。本資料は、准組合員制度の成り立ちや准組合員が地域を支える実態、規制改革推進会議が准組合員利用規制を迫る背景などを、平易な対話形式により表現しております。中央会のホームページに資料を掲載しておりますので、ご覧ください。

JA北海道信連

8月に、小学生の親子を対象とした『旬食力レッジ.in旭川「収穫・料理教室」』をJAあさひかわの協力を受け開催しました。

大根の収穫体験、収穫した大根を使った料理教室、農業者による講演等を実施するなど、「食材が畑から食卓に並ぶまで」を体験していただき、農業・食の大切さを伝えることができました。参加者には、「農家を身近に感じた」「また参加したい」など好評でした。

ホクレン

LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材（飼料や農薬など）価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信してまいりますので、ぜひお手持ちのスマートフォンやパソコン（http://hokuren-news.jp/）からご登録ください。

登録はこちらから▶

JA共済連北海道

8月4日、札幌にて「全道LA・スマサポ大会」を開催し、全道JAの中から、平成28年度普及活動で優秀成績を収めたLA38名と、スマイルサポーター11名が登壇し、表彰しました。JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めて参ります。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

営農販売・経済委員会視察研修

◆日　程：平成29年8月28日（月）～30日（水）
◆参加者：田中専務、西村常務、平田委員長、高瀬副委員長、下川部理事、山下理事、時田理事、森理事、浅野理事、鈴木理事
◆事務局：新谷部長・細畑部長・穴田課長

JAグリーン近江

「TACシステム」について、取組体制や導入経過、活動報告などを伺い、「出向く営農」の取組事例として、大変参考になりました。

セントライ青果（株）

量販店へ直接納入するパッケージセンターと産地からの品質、鮮度を取引先まで保つために整備された大型低温設備を視察しました。

JA遠州中央

入荷から出荷まで自動化されている集出荷貯蔵施設と播種、発芽、育苗、順化、出荷までを完全自動化している、白ねぎ共同育苗施設を視察しました。

テロ対策にご協力お願い致します
肥料・農薬等の保管管理の徹底を!!

農業に必要な肥料や農薬等が爆発物製造の材料として盗難被害に遭う危険性もあることから、これらの保管管理の徹底を呼びかけております。

肥料等を購入して自宅に届きましたら、次のことに注意し、盗難被害の防止に努めて下さい。

1　屋外（田畑付近等）に野積みにしない
2　鍵のかかる倉庫などに保管する
3　盗難に遭ったら直ちに警察へ通報する

北海道警察では、官民一体となった「テロの未然防止」に向け、JA新はこだてをはじめとする「テロ対策パートナーシップ協議会」と連携を密にし各種対策を講じています。

函館中央警察署
0138-54-0110

新米の初検査行われる

9月19日、管内トップを切って七飯支店で新米の等級検査が始まりました。この日、七飯町鶴野の工藤誠一さんは「ゆめぴりか」120俵を持ち込み、職員が検査。全量1等米であることが確認されると、工藤さんは笑顔を見せていました。その後、輪島組合長よりお祝いの清酒が贈られました。

第58回全道JA野球大会 準決勝で惜しくも敗退

当JA野球部は9月12日から江別市の道立野幌総合運動公園で行われた「第58回全道JA野球大会」に出場しました。

1回戦はJAとまこまい広域に7−0（5回コールド）で勝利。続く2回戦ではJAピンネに3−0で勝利。準決勝ではJA道央と対戦し、惜しくも0−3で敗退。3位という結果で大会を終えました。

野球部の活動にご理解・応援してくださった組合員はじめ関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

理事会開催報告

第10回理事会議案（定例）

●日時／平成29年9月25日（月）10時30分～
●場所／北斗市農業振興センター

報告事項

（1）第2四半期定期監査結果について
（2）第2四半期内部監査結果について
（3）組合員の異動について
（4）第5回ALM委員会の開催について
（5）第1回役員推薦会議の開催について
（6）JA財務モニタリングに基づくアウトライヤー基準該当に関する報告書について
（7）8月分有価証券の売却について
（8）営農販売・経済委員会視察研修の実施概要について
（9）平成29年産米概算金の設定について
（10）残留農薬基準を超えた「キュウリ」の対応概要について
（11）台風18号による被害状況について

議　案

第1号　第2四半期定期監査に対する回答について
第2号　信用供与2億円超に係る賃貸住宅ローンの貸出について
第3号　理事者への貸付について（案件1）
第4号　理事者への貸付について（案件2）
第5号　金融機関への貸付について
第6号　（根）抵当権一部抹消の承認について
第7号　国債窓口販売業務の廃止について
第8号　花卉組合凍結事故に係る支援について
第9号　上期決算に係るディスクロージャー誌の作成について
第10号　特定個人情報取扱規程の一部変更について
第11号　個人情報保護法等に基づく公表事項等の一部変更について
第12号　職員への寒冷地手当の支給について
第13号　職員就業規則の一部変更について
第14号　育児および介護休業規程の一部変更について

コラム

万一に備えよう わが家の防災

家族でやっておく災害対策

災害危機管理アドバイザー●和田 隆昌

　7月初旬、九州北部で多数の人的被害を伴う豪雨災害が発生しました。甚大な被害を受けた地域の方々には心よりお見舞い申し上げます。

　日本は地震大国であるだけでなく、気象災害においても大きなリスクを抱えていることをあらためて思い知らされました。日本列島では今や毎年のように「記録的豪雨」による被害が各地で発生しています。ですから地震に加えて台風、豪雨などへの備えも、ひとごととせずに、日本国民全員が意識して準備していなくてはなりません。地域で行っている防災訓練や避難訓練に参加すること、水や食料の備蓄をすることも重要なことなのですが、それぞれの家庭が意識して、被害に遭わないようにするにはどうしたらいいかを考えることこそが、本当の対策なのです。

　自分の住む自治体の発行する「ハザードマップ」を家族全員で見たことはありますでしょうか？　避難場所や避難所の位置を確認するだけでなく、自宅周囲の危険度の高低を知ることは、危機が迫ったときに避難経路を決めるのに役立ちます。

　自分の生活する場所にどのような危険があるのか、「いつ」「どのように」逃れるのかを事前に考えておく必要があります。津波、土砂災害、浸水、火災など地域によって最もリスクの高い災害に対して、避難経路や避難を決めるタイミングを家族全員で決めておきましょう。災害用伝言ダイヤル「171」などの連絡手段を確認したり、遠方の親族の電話番号を共有しておくことも災害時の連絡手段として有効です。

　これらに加えて、ご近所同士でお子さんやお年寄りのサポート方法を考えるなど、地域全体で弱者を守る地域コミュニティーをつくっておくことも、自分の不在時に、大切な家族の安全を図るためには、とても大切なことです。

和田 隆昌（わだ たかまさ）…災害危機管理アドバイザー。アウトドア雑誌の編集者の経歴を生かし、主に自然災害の防災対策を専門とする。各種団体や地域の団体と協力し民間側における現実的な防災対策を提唱。

みんなのまるめ郎広場

Q. 数独®ニコリ
二重枠に入った数字の合計は？

5		1		7	6		2	
6			3				1	5
3	2		9		1	8	□	6
9			1		4	2	7	
7	1			8			6	4
□	4	3		6	2	5		1
	5	8	6		7	4	3	
4		9			5			7
	7		8	4		1	5	

ルール

（1）空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
（2）タテ列（9列）、ヨコ列（9列）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロック）が9つ）のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

例

Q.

□	9		3	2			4	8
	2	4		6	8	1		5
6	8	1	5		4	3	7	
8	1			3	7		2	4
		2	1	5	9	8	6	
5	6	7	4		2	9	3	1
1	7		9	4		2		6
2		3	8		6	4	5	□
9	4			1	5	7		3

A.

⑦	9	5	3	2	1	6	4	8
3	2	4	7	6	8	1	9	5
6	8	1	5	9	4	3	7	2
8	1	9	6	3	7	5	2	4
4	3	2	1	5	9	8	6	7
5	6	7	4	8	2	9	3	1
1	7	8	9	4	3	2	5	6
2	5	3	8	7	6	4	1	⑨
9	4	6	2	1	5	7	8	3

プレゼント

クイズの正解者の中から抽選で 3 名様に、以下の 3 種類からお好きな商品を 3 袋お送りします。
希望のプレゼントをご記入ください。

農協ラーメン（1袋2食入り）
農協のトマトカレー（1袋1食入り）
あっさぶの豆（1袋110g入り）

※今月から「あっさぶの豆」が追加となりました

あて先

クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて企画室　FAX:0138-77-5566
E-mailアドレス　akinori.nakata@ja-shinhakodate.com

⬇応募用紙はこちら（切り取ってハガキにそのまま貼ってね。）
応募締め切り　10月23日（月）（当日消印有効）
※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。※コメントのないものは無効とさせて頂きます。

こたえ

ご希望のプレゼント　※下記のいずれか1つに○を付けて下さい
農協ラーメン・農協トマトカレー・あっさぶの豆

住所
〒　－

氏名　年齢　TEL
ペンネーム　才　－　－

組合区分　正組合員・准組合員・その他　※○を付けて下さい

コメント ※広報誌へのご感想やご意見・ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。

キリトリ線

今月号の当選者

今月は7件の応募があり、厳正な抽選の結果、次の3名の方が当選となりました。

前回の答え　ポークマン

クイズ当選者
ラムちゃんさん
ヒロポンさん
モーモーさん

読者の声

たくさんのご応募、ありがとうございます。

北斗市 おていちゃんさん
もうすぐ新米が出ますよ～♡楽しみです。

兵庫県 ラムちゃんさん
「函館育ちふっくりんこ蔵部ビール」魅力的ですね。

函館市 みっちーさん
娘夫婦がいつか「えすぽわ～る」の表紙を飾る日がくることを楽しみにしています。

八雲町 ヒロポンさん
川柳か俳句など募集してみたら?

八雲町 モーモーさん
えすぽわ～るをいつも楽しみにしています。八雲の青年部に期待しています。各地区のPRご苦労様。

北斗市 サッちゃんさん
あぐりレッスンが参考になります

えがほかーる
第182号
平成29年10月10日発行
発　行／新函館農業協同組合
〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
電話／0138-77-5555　FAX／0138-77-5566
ホームページ／http://www.ja-shinhakodate.jp/
編　集／企画室　印　刷／有限会社　三和印刷

料理楽しくステップアップ

「キッチン晴人」のオーナーシェフ
永井 智一（ながい ともかず）

「キッチン晴人」のオーナーシェフ。1975年茨城県水戸市生まれ。高校卒業後、都内のすし店で修業後、帰郷し懐石料理を学ぶ。2013年12月に畑とつながるをコンセプトとした「キッチン晴人」をオープンし、地元農産物を生かした料理を提供中!

サトイモの煮っころがし ～みそ風味～

point

素揚げにするときはとにかくカリッと揚げること。

材　料（4人分）

- サトイモ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 12個
- スナップエンドウ ・・・・・・・・・・・・ 4本
- すりごま ・・・・・・・・・・・・・・ 大さじ1
- オリーブ油 ・・・・・・・・・・・・ 大さじ1/2
- サラダ油 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 適宜
- 合わせみそ
  - 田舎みそ ・・・・・・・・・・・・・ 大さじ2
  - 料理酒 ・・・・・・・・・・・・・・ 大さじ1
  - みりん ・・・・・・・・・・・・・・ …大さじ1
  - 砂糖 ・・・・・・・・・・・・・・・ 大さじ1/2
  - おろしショウガ ・・・・・・・・・・ 小さじ1
  - おろしニンニク ・・・・・・・・・ 小さじ1/2
  - おろしタマネギ ・・・・・・・・・・ 小さじ1

作　り　方

（1） サトイモは皮をむき、水大さじ1（材料外）を入れた皿に載せ、ラップフィルムを掛け軟らかくなるまで電子レンジで加熱する。

（2） （1）の粗熱を取り、180度のサラダ油で素揚げにする。

（3） ボウルに合わせみその材料を混ぜ合わせる。

（4） フライパンにオリーブ油を熱し、合わせみそを入れ加熱し、（2）を入れ手早く絡める。

（5） （4）を器に盛り、ゆでたスナップエンドウを散らし、すりごまを回し掛ける。

編集後記

10月は新米の季節です。店頭には、たくさんの品種が並び、それぞれ名前も違います。気になって調べたところ、面白い名前を見つけました。

例えば、「森のくまさん」。森の都熊本で生産されたことから、森、熊、産を並べてこの名前になったそうです。その他には、「ゴロピカリ」。群馬県名物の雷の音とピカッと光るイメージから名づけられたそうです。

名前の由来を知ると、そのお米に対してさらに愛着がわくのではないでしょうか。

（明）

facebookページ更新中！

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。

JA新はこだて facebook　検索

まるめ郎アルバム

タマフクラの共選作業を見学してきました!
僕も一緒に作業したいな～

緊急時のご連絡先

※業務時間内（平日9時～17時）にはご契約の支店にご連絡ください。

お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
（JA共済事故受付センター）

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
（JA共済サポートセンター）

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
（JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター）

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
（三菱UFJニコス㈱盗難紛失受付センター）

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。